



郷土歴史資料館 イベント

..... コラム あわら市の文化財・史跡探訪
第2回 国指定史跡 吉崎御坊跡

本願寺8世蓮如は、文明3（1471）年5月北国に下向し、同年7月に吉崎御坊を開き、以後文明7（1475）年に吉崎を退去するまで、この地を拠点として盛んに布教活動を行い、真宗教団が北陸に大きく広まる礎を築きました。蓮如が当時の他宗派と大きく違ったのは、一般大衆の立場に立ってこれまで救われることがないと思われていた庶民を勇気付けたことでした。また、「御文（御文章）」と講をもって信心と布施を定着化したことで、真宗教団の財政再建と門徒拡大をなしていきました。現代でも大事に「御文」を伝えているお宅もあるのではないのでしょうか？

北潟湖に突出した海拔約33m、広さ約2万㎡の御山を中心に、一向宗勢力の増大とともに、寺内町一帯を要害化していった姿は、後の山科本願寺・石山本願寺の造営に通じるものがあり、祖型がこの吉崎寺内町にあると考えられています。このように歴史的な意義の大きい吉崎御坊跡は昭和50（1975）年に国指定史跡に指定されました。



◀吉崎御坊跡全景
所在地：あわら市吉崎2字西御山148の2他

秋季企画展 講演会 「古代の塩と人」

現在開催中の秋季企画展に関連して、人々にとって欠かすことのできない「塩」について、古代の製法を中心にお話します。

と き 11月29日（土）
13時30分～

と ころ 研修室1（IKOSSA 3階）

講 師 鈴木 篤英氏
（福井県埋蔵文化財調査センター主任）

参加費 無料

.....
郷土歴史資料館（金津本陣 IKOSSA 2階）
休館日 月曜日・第四木曜日
※ これらの日が祝日の場合はその翌日
開館時間 9時30分～18時（最終入館17時30分）
問合せ ☎ 73-5158
.....

平成30年開催！

福井しあわせ元気国体

国体 がやってくる！



福井しあわせ元気国体マスコットはぴりゅう

思い出の福井国体

⑤ 芦原中学校にサッカーがやって来た！

（波松 坂井 優さん）

とにかく、それは鮮烈で衝撃的でした。国体に向けて1年前から中学校の2面のサッカーグラウンドに芝が張られ、7月になると緑の芝生はいよいよ最高の状態となりました。当時、私は中学2年生でサッカー部に所属していました。私たちは、「こんなきれいな芝グラウンドで試合したい」と思いましたが、芝グラウンドに入れるのは草とりのときだけで、国体前は私たちサッカー部の練習には使わせてもらえませんでした。

国体開催が決まるや、芦原町民のサッカーへの関心を高めるため、町民体育祭では小学生による「簡易サッカー」のエキシビジョンゲームが披露されました。

また、給食の時間には、「福井国体の歌」～この明るさのなかにゆけ～が流されたほか、国体旗と炬火が町から村へ駆け抜ける炬火リレーも行われました。北潟から波松を通り、城へ抜けるリレーに参加した私は、「いよいよ国体来るんだ！」ということを実感しました。

教員の部では、福井教員チームが連日快進撃を続け、

ついに決勝に進みました。教員チームには、近隣の中学校サッカー部の先生も出場されていて、ボールポイの私たちは、教員チームの活躍に心躍らせながら、ゴール裏から熱い応援の視線を送り続けていました。

大会で着用した福井教員チームの濃紺のユニフォームには、胸に大きくVの字がデザインされていました。大会終了後、そのユニフォームが芦原中学校に寄贈されることを聞き、サッカー部員みんなで大喜びしたのを覚えています。早速、2番のユニフォームを着て憧れの芝グラウンドで試合ができたときには、うれしくてますますサッカーが大好きになりました。

その後45年間、選手や指導者としてサッカーに携わってこれたのは、この国体があったからだと感謝しています。

国体準備室では、福井国体の思い出や写真を募集しています。

問合せ 国体準備室（スポーツ課内） ☎ 73-8043



◀福井教員対山口教員

保護者の皆さんの働き方と子育ての状況に併せて、こんな支援が利用できます。

どのような支援を利用するとよいかご相談をお受けします。
子育て支援課まで気軽にご相談ください。

育児が明けたら、仕事もしっかり頑張りたい！

両親の一方が専業主婦（夫）の場合

- 【施設を利用】
- ▶ 認定こども園
- 【在宅で子育て】
- ▶ 認定こども園
- ▶ 子育て支援センター
- ▶ 一時預かり保育

週3日のパートのときだけ、預かり保育もしてほしい

両親の一方がパートタイムの共働き世帯（もしくはひとり親家庭でパートタイム）の場合

- ▶ 認定こども園
- ▶ 放課後子どもクラブ

子どもがまだ小さく、ゆっくり子育てをしたい

両親ともフルタイムの共働き世帯（もしくはひとり親家庭でフルタイム）の場合

- ▶ 認定こども園
- ▶ 放課後子どもクラブ

✿ 子育て支援センター

お子さんのいる家庭が安心して子育てができるように子育て支援コーディネーターの育児相談や育児講座の開催、仲間づくりを支援しています。
各講座の詳細は、14ページをご覧ください。

対 象

小さな子どもがいる家庭

利用時間

月～金曜日（祝日を除く）
9時～16時30分

内 容

- ・ 育児相談（電話・来所）
- ・ 訪問育児相談（要予約）
- ・ 乳幼児教室や育児講座
- ・ 出前子育て支援センター
- ・ 遊び場開放 など

利用料金

無料

問合せ

子育て支援センター
☎ 77-1163

✿ 放課後子どもクラブ

保護者が昼間家庭にいない児童が、放課後に小学校の空き教室などで過ごすことができます。

対 象

共働き家庭など留守家庭の小学校1年生～6年生の児童

利用時間

平日：放課後～18時
長期休暇期間、第2土曜日：8時30分～18時
※ 第2土曜日は利用希望がある場合のみ開所します。

開設場所

中央児童館（11月から中央公民館）、古町児童館、細呂木小、坪江公民館、伊井公民館、芦原小、本荘小、新郷小、北潟小

利用料金

- ・ 年間入所：6000円～/月
- ・ 長期休暇：2500円～
- ※ 期間により異なります。

問合せ

文化学習課 ☎ 73-8041

✿ 一時預かり保育

家庭で児童を保育している保護者が一時的に児童を保育することができないときに、近くの保育施設へ預けることができます。

対 象

生後6カ月～就学前の児童

保育時間

各保育施設利用時間帯

利用料金

- 半日：1000円
- 1日：2000円
- （第3子の3歳未満児は無料）

問合せ

子育て支援課 ☎ 73-8021

✿ 子育て支援センターを利用して ✿

現在は週に3回ほど利用しています。初めての子育てで、分からないことも多く、不安なこともあります。支援センターの先生たちに気軽に相談できるので、安心して子育てができます。広いので、子どもを自由に遊ばせることができるのも良いところですね。

また、子どもにとっても、親にとっても友達を作り、情報交換ができる場になっています。

▶支援センターの様子



坂元 章子さん
心春ちゃん
（中央区）

